

『小さな はたけ』

教科・場面

音楽

授業・実践のねらい

- ・音や音楽に気づき、友だちや教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じる。
- ・音楽や楽器の音を聴いたり、教師と一緒に身体を動かしたりして、好みの音や音楽などを見つける。

対象の児童・生徒

小学部2年生

教材・教具

- ・花（切り紙。茎はストロー）
- ・畑（段ボール箱）
- ・種（鈴を入れたおもちゃ）

工夫したところ

- ・花や畑を折りたたむと平らになって収納しやすく、訪問授業にも持参しやすい。

授業展開・教材の使い方・実践の内容など



- ・準備として、畑（段ボール箱）に花を挿しておく。
- ・児童たちは、『小さなはたけ』の歌詞に合わせて、種（鈴を入れたおもちゃ）を蒔く。歌詞の最後、花が咲いた『ポッ』という擬音に合わせて、花を抜き取る。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・歌詞や旋律がシンプルで親しみやすいうえ、最後の『ポッ』という擬音で花を摘むタイミングもわかりやすく、児童たちは楽しみながら取り組むことができた。
- ・種蒔きでは、自分が落とした種（鈴）が鳴った音に気づき、視線や表情で表出する児童がいた。
- ・花摘みでは、タイミングよく花を抜き取ったり、「ポッ」と発声したりする児童がいた。